

消防防災分野において有効に活用できると認められる
「消防防災製品等」の推奨

消防防災製品等推奨品
 (財)日本消防設備安全センター



財団法人 日本消防設備安全センターでは、平成22年3月30日付けで、非常時の脱出や救助活動に使用する工具を収納し、震度5強相当以上の振動を感知して扉のロックを自動解除する「レスキューキャビネット(地震感知タイプ)」を次のとおり推奨しました。

システム・機器名	レスキューキャビネット(地震感知タイプ)
システム・機器型式記号	DRK-VRC10CG / DRK-VRC10W
申請企業名	コクヨ S&T 株式会社
推奨番号	推防災第10号
推奨年月日	平成22年3月30日
推奨の有効期限	平成24年3月31日

通常の防災キャビネットの場合

「いざ」というとき
鍵がない!



「いざ」というとき
中身がない!



レスキューキャビネット(地震感知タイプ)

地震を感知してロックを解除!!



震度5強相当以上の地震を感知してロックを自動解除!

通常時は扉を開けられることがなく、「いざ」という時は救助工具や救急用品などの収納物をすぐ使用でき、不特定多数の人が出入りする公共スペースでの設置に最適です。



ホホワイト色



シャンパンゴールド色



設置例

本製品は、脱出や救助活動のための救助工具セットを収納するレスキューキャビネット（地震感知タイプ）で、次に掲げる特長、機能、性能を有するものである。

1 特長

- (1) 地震を感知して扉ロックを自動解除するレスキューキャビネットである。
- (2) 通常時はキャビネットの扉が開かないので、いたずらや盗難を予防できる。
- (3) キャビネットは三角柱形状なのでデッドスペースの有効活用ができる。
- (4) 非常時の避難や救助活動に適した道具を収納することができる。
- (5) キャビネット本体は転倒防止対策が施されている。

2 レスキューキャビネットの構成・機能

- (1) レスキューキャビネットは、キャビネット本体、扉、扉ロックユニット及び地震検出ユニットで構成されている。
- (2) レスキューキャビネットには脱出や救助活動のための救助工具セットが収納されている。
- (3) 救助工具セットには、平バラシバール、テコバール、両口ハンマー、救急用品、スタンドライト（2個）、ヘルメット（2個）、多機能ラジオライト、ヘッドライト（2個）、救助ロープ（20m）、革手袋（2双）、保護メガネ（2個）、ホイッスル（2個）、防塵マスク（2枚）及び油圧ジャッキが納められている。
- (4) キャビネットの扉には開放中／封印中の状態を表示する表示窓、透明カバー付のPUSHボタン及び封印用鍵穴が設けられている。
- (5) キャビネットの扉の非常用品が収納されていることを示す表示ラベル及び扉を開ける際に押すボタン部には蓄光材を使用しているため暗闇でも視認ができる。
- (6) キャビネット本体の外形寸法は幅56.5cm×奥行き30.5cm×高さ141.7cmである。直角三角形の断面をもつ三角柱形状をしており、室内のデッドスペースを有効活用して設置が可能である。
- (7) 扉ロックユニットは、制御部、機構部、電源部で構成され、地震検出ユニットが振動を検出するとロック解除動作をする。
- (8) 地震検出ユニットは人や物の接触などの地震以外の振動で誤作動をしないようにキャビネットの底部の床に、キャビネットと接しないよう独立させている。
- (9) 地震検出ユニットが震度5強相当以上の振動を検出すると信号を送り、扉ロックが解除される。使用者は透明カバーを開きPUSHボタンを押し込むことで扉を開けることができる。
- (10) 電源は9V形のアルカリ乾電池を2個使用し、電源がないところでも設置ができる。
- (11) キャビネット本体は専用の粘着シールを使用して壁面に設置し、転倒防止対策を施している。
- (12) メンテナンス等で扉を開ける場合は強制解除器具でロック解除ができる。

付 帯 事 項

- 1 本製品の救助工具セットで使用している用品は推奨対象としない。
- 2 本製品は温度0～40℃、湿度20～80%以内の環境で使用すること。
- 3 本製品は、火気のそば及び床面がぬれる場所では使用しないこと。
- 4 本製品を使用する場合は、安全な使用状況を確保するため、メンテナンス契約が必要となる。
- 5 本製品は、1年に1回電池及び劣化部品の交換、動作確認等のメンテナンスを行う

- こと（メンテナンス契約に含む）。
- 6 地震感知ロック装置と地震センサーは10年に1回交換すること（メンテナンス契約に含む）。

本推奨製品に関するお問い合わせ先

- ・財団法人日本消防設備安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館7階

TEL 03-3501-7919 / Fax 03-3501-7980

- ・コクヨ S&T 株式会社 事業戦略本部 防災ソリューションVU

〒108-8710 東京都港区港南1-8-35

TEL 03-3474-7574 / Fax 03-3474-7618

HP : <http://www.kokuyo-st.co.jp/solution/bousai/>